

このハードディスクには DSJRA-55 領域ダウンスケーリングデータ（降水強度の合計（雨、雪等の合計））が収録されています。

1 収録期間

1958年1月1日～2012年12月31日（55年間）

2 時間分解能：毎時

3 データ形式

二進形式格子点資料気象通報式（第2版）（GRIB Edition 2）（緯度／経度情報(Lambert5km_latlon)を除く）

緯度／経度情報(Lambert5km_latlon)については、4バイト浮動小数点（ビッグエンディアン）

詳細は DSJRA-55 プロダクト利用手引書(DSJRA-55_handbook_v1_ja.pdf)をご覧ください。

4 ディレクトリ構造

YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日

*.ctl （Grid Analysis and Display System（GrADS; 描画ソフト）コントロールファイル）

*.idx （GrADS インデックスファイル）

4.1 ルートディレクトリ

DSJRA-55_handbook_v1_ja.pdf（DSJRA-55 プロダクト利用手引書）

※本ドキュメントには気象業務支援センターから提供している要素（海面更正気圧、地上気温、地上露点差、地上風（U成分、V成分）、降水強度の合計（雨、雪等の合計））に加えて、非商用利用向けに提供している要素も記載されています。非商用利用向けデータ提供については、DSJRA-55 ホームページ (http://jra.kishou.go.jp/DSJRA-55/index_ja.html)をご覧ください。

copyright.txt

readme.txt（このファイル）

4.2 不変データディレクトリ

Const +- Lambert5km_land.ctl

Lambert5km_land.grib2 (地形情報)

Lambert5km_land.idx

Lambert5km_latlon.ctl

Lambert5km_latlon.dat (緯度/経度情報)

4.3 累年値ディレクトリ

Hist +- Daily +- fcst_phy2m_tpratesfc +- YYYYMM +- fcst_phy2m_tpratesfc.YYYYMM.ctl

+ fcst_phy2m_tpratesfc.YYYYMM.idx

+ fcst_phy2m_tpratesfc.YYYYMMDD (GRIB2 形式データ)

+ ...

※各 GRIB2 形式データには 24 時間分のデータが収録されています (日時は世界標準時)。

5 備考

本データは、等緯度経度格子ではなく、等距離格子となっており、地図投影にはランベルト正角円錐図法を用いています。描画ソフト GrADS(<http://cola.gmu.edu/grads/>)を用いることにより、等緯度経度格子への投影変換が可能です。